



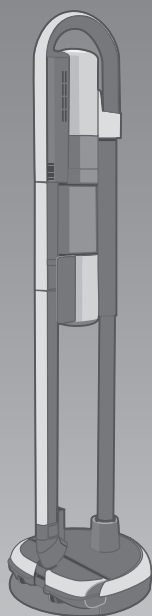
三菱コードレススティック クリーナー(家庭用)

取扱説明書

形名

エイチ シー ジェイ エス エフ

HC-JS2F
(サイクロン式)



- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は、大切に保存してください。

※この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

イラストは説明イメージです。実際とは多少異なります。

もくじ

ページ

特長	2
安全のために必ずお守りください	4
故障などを防ぐために	7
各部のなまえ	8
準備する(充電する・収納する)	10

使
つ
ま
え

お掃除する	12
●傾き検知機能(らくイックモーション)で お掃除する	12
●エアブロー機能を使う	14
上手なお掃除	16
ゴミをすてる	18

使
い
か
た

お手入れ	20
●サイクロンボックス	20
●パワーブラシ	22
●充電台	24
●充電端子部	24
●プラグ接続口	24
●本体	24
●毛ブラシ・ロングノズル	24

お
手
入
れ

故障かな?と思ったら	26
●クリーナーの保護装置について	30
バッテリーの交換を依頼する	31
製品を廃棄する(バッテリーを処分する)	31
保証とアフターサービス	34
消耗部品	35
仕様	裏表紙

い
じ
ん
な
と
き

製品登録のご案内

ご購入製品の登録をしていただくと、製品に関するサポート情報や生活に役立つ情報などを提供させていただきます。

二次元コードから登録

充電台底面の二次元コードを読み取ると、
形名と製造番号を入力することなく
カンタンに登録いただけます。

Webから登録

「三菱電機製品登録」で検索してください。

三菱電機製品登録

検索 

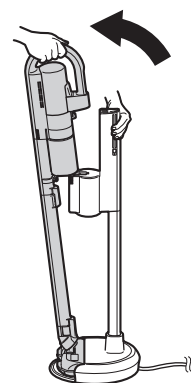
お掃除をもっと手軽に、もっと身近に

「部屋に出して置けるデザイン」で、気づいたときにさっとワンアクションでお掃除ができます。

1. ワンタッチ着脱でサッとお掃除

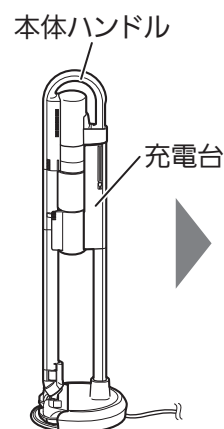
スティックで使う

充電台を手で押さえながら、本体ハンドルを持って手前に引く

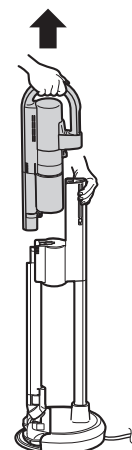


ハンディで使う

充電台を手で押さえながら、本体ハンドルを持ってまっすぐ持ち上げる

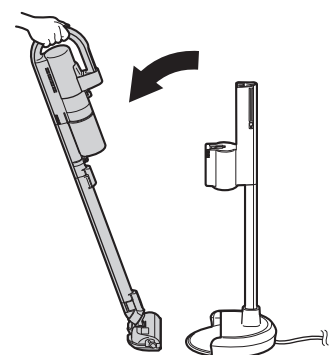


- 必ずパワーブラシまたは毛ブラシなどを取りつけてお掃除してください。
- 本体ハンドルをまっすぐ持ち上げないと、充電台からパイプがはずれる場合があります。

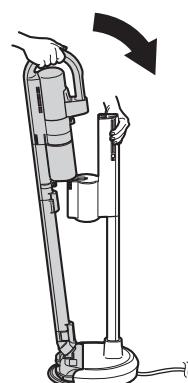


2. 傾き検知機能(らくイックモーション) P12~13

クリーナー(本体)を充電台からはずし手前に傾けると運転が始まり、充電台にセットすると運転が止まります。



運転



停止



工場出荷時は、「傾き検知機能」が働かない設定になっています。働く設定にして P12 お掃除を始めましょう。

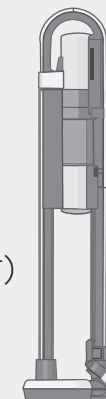
お掃除するたび、パワーブラシの回転ブラシを自動でお手入れ 「回転ブラシ自動クリーニング機構」 P15 (らくリーニングスタンド)

お掃除(運転)後、充電台にセットするたびに、パワーブラシの回転ブラシにからみついた髪の毛などを自動でクリーニングし、回転ブラシへのからみつきを抑制します。

お掃除(運転)後、
クリーナーを充電台にセット

自動で回転ブラシを回転させて、
からみついた髪の毛などを除去して吸引
(バッテリー残量によって運転音が変わります)

充電開始



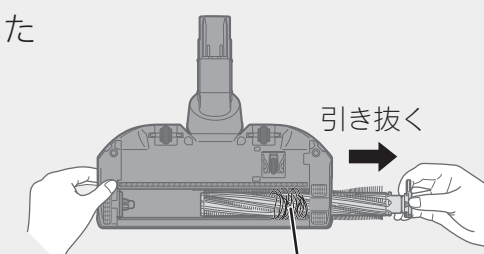
- 必ずサイクロンボックスを取りつけて充電台にセットしてください。
除去した髪の毛などを吸引できない原因になります。

「毛がらみ除去機能」で簡単お手入れ P22~23

回転ブラシを引き抜くだけで、回転ブラシにからみついた髪の毛などを除去します。
簡単にお手入れできるので、清潔にお使いいただけます。



- 回転ブラシのからみつきを抑えることで、お掃除がしやすくなり、ゴミの取れ具合にも差がでます。
- お掃除後はパワーブラシの裏面を確認してお手入れしてください。

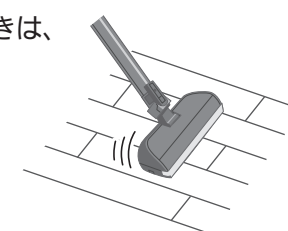


回転ブラシにからみついた髪の毛などが取れます。

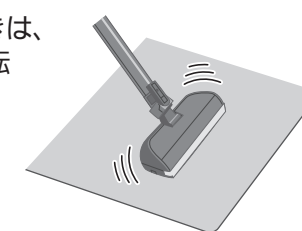
「自動」運転(パワースhiftモード)で効率よくお掃除 P15

パワーブラシでお掃除中、床面に合わせて吸込力を自動でコントロールします。

フローリングなどのときは、
吸込力を抑えて運転
(「標準」運転)



じゅうたんなどのときは、
吸込力を強くして運転
(「強」運転)



安全のために必ずお守りください① <クリーナー・充電台について>

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡
や重傷に結びつく可能性があり、
その切迫の度合いが高いもの。



誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷に結びつく可能性
のあるもの。



警告

火災・やけど・感電などを防ぐために



禁止

■付属のACアダプター以外使用しない
また、付属のACアダプターを他の機器に
は使用しない(ACアダプターはHC-JS2F専用です)
〔発火・感電・故障の原因〕

■引火性のあるものや火気のあるもの・液体を
吸わせない
〔火災・感電の原因〕
(灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、
トナーなどの可燃物、たばこの吸い
がら、水、飲みものなど)

■改造しない、分解・修理しない
〔火災・感電・けがの原因〕
修理は、お買上げの販売店または、
「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

■廃棄時以外はバッテリーを取り出さない
〔火災・感電・けがの原因〕
バッテリー交換は、お買上げの販売店または、
「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

■運転中は回転ブラシや回転ストッパーに
触れない〔けがの原因〕特にお子さまにご注意ください。

■ACアダプターの電源コードを回転ブラシ
に巻き込まない〔電源コードがいたみ、感電の原因〕

■水洗いしない、風呂場などでは使わない
〔感電の原因〕
(以下のみ洗えます。
サイクロンボックス・パワーブラシの
回転ブラシ・毛ブラシ・ロングノズル)

■ACアダプターを水や湿気の多い場所で
使用しない〔感電・ショートの原因〕

■ACアダプターはぬれた手で抜き差ししない
〔感電・けがの原因〕

■いたんだACアダプターやその電源コード・
電源プラグ、差し込みのゆるいコンセント
は使わない〔感電・ショート・発火の原因〕

■ACアダプターの電源コードや電源プラグを
傷つけない
〔破損して、火災・
感電の原因〕
(傷つけない・無理に曲げない・
引っ張らない・ねじらない・
束ねない・重いものをのせない・
はさみ込まない・加工しない)



指示を守る

■ACアダプターは交流100Vのコンセント
に接続して使用する
〔100V以外で使うと、感電・ショート・発火の原因〕

■ACアダプターの電源プラグはコンセント
の奥まで確実に差し込む
また、ACアダプターのプラグを充電台の
プラグ接続口に確実に差し込み、ゆるみ
がないことを確認する
〔差し込みが不完全だと、感電・ショート・発煙・発火の原因〕

■本体のお手入れのときは、運転を止める
〔感電・けがの原因〕

■充電台のお手入れのときは、電源プラグを
コンセントから抜く〔感電・けがの原因〕

■ACアダプターの電源プラグのホコリなど
は定期的に乾いた布でふき取る
〔ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因〕

■乳幼児の手の届かないところに設置し、
お子さまがいたずらしないようにする
〔感電・けがの原因〕

■製品の安全な使用方法と危険性を理解
している方のいるもとで使用する
〔感電・けがの原因〕特にお子さまにご注意ください。

■異常・故障時には直ちに使用を中止する
●スイッチを入れても、運転しない
●ACアダプターや電源コードを動かすと、
通電したりしなかったりする
●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする
●本体やACアダプターが変形したり、異常に熱い
●こげくさいにおいがする ●その他の異常や故障がある
〔発煙・発火・感電・けがの原因〕

すぐにスイッチを切り、ACアダプターの電源プラグ
を抜いてから、販売店にご相談ください。

■本文中や本体に使われている図記号の意味は
下記のとおりです。



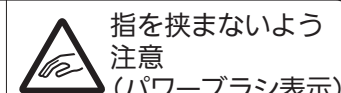
誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家屋・家財など
の損害に結びつくもの。



禁止



指示を
守る



指を挟まないよう
注意
(パワーブラシ表示)



注意

火災・感電・けがなどを防ぐために



禁止

■火気に近づけない

〔本体の変形によるショート・発火の原因〕
〔排気でストーブの火などが大きくなり、火災の原因〕
〔バッテリーが発熱・破裂・発火する原因〕

■吸込口をふさいで長時間運転しない
〔発火の原因〕

■排気口をふさがない
〔発火の原因〕

■パイプ・本体のピン穴・吸込口・本体の
すき間に針金・金属物などを入れない
〔感電・けがの原因〕

■ガソリン・ベンジン・シンナーなど、
引火性のものの近くで使わない
〔爆発・火災の原因〕

■本体・パイプが床面に接した状態で
掃除しない
〔床面などに傷がつく原因〕

■クリーナーと充電台を一緒に持ち運ばない
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

■本体ハンドル以外を持って
本体を持ち運ばない
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

■クリーナーを壁などに立てかけない
〔転倒して、けがや床面などに傷がつく原因〕

設置について

■不安定な場所に設置しない
〔転倒により破損して、けがや床面などに傷がつく原因〕
特にお子さまにご注意ください。

エアブロー機能使用時

■ストーブや火に向けて使わない〔火災・けがの原因〕

■人に向けて使わない〔けがの原因〕

■ロングノズルの先端を家具などに
ぶつけない〔家具などに傷がつく原因〕

パワーブラシについて

■車輪・回転ストッパー・ふきブラシ・
フェルト部などが摩耗したまま使わない
〔床面などに傷がつく原因〕

■車輪などに髪の毛などがからみついた
まま使わない〔床面などに傷がつく原因〕

■横やななめに引きずったり、壁・床面
などに強く押しあてたりしない
〔床面や家具などに傷がつく原因〕



指示を守る

■お掃除中、クリーナーから離れるときは、
運転を停止して充電台にセットする
〔けがや床面などに傷がつく原因〕

■電源プラグを抜くときは、必ずACアダ
プターを持って抜く
〔感電やショートして発火・火災に至る原因〕

■長期間使用しないときは、ACアダプター
をコンセントから抜く
〔絶縁劣化による感電・漏電火災の原因〕

■サイクロンボックスを取りつけて運転する
〔内部にホコリが入りやすくなり、火災・感電の原因〕

■クリーナーを充電台にセットするときは、
パイプ・パワーブラシを取りつける
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

プリーツフィルター・プレフィルターについて

■必ず取りつけて運転する

■お手入れ(水洗い)後は十分に乾燥させる

■破損した場合は交換する

〔モーターや制御回路の発煙・発火の原因〕

安全のために必ずお守りください② <バッテリー(電池)について>



危険

発熱・破裂・発火・感電による事故や大けがを防ぐために



禁止

- 改造・分解しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 火のそばや、炎天下の車中などで使わない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- ストーブなどの熱源のそばに放置しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 火の中に投入したり、加熱したりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 充電端子部を金属などで接続しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 指定機器以外の用途に使わない
(バッテリーはHC-JS2F専用です)
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 水・海水・ジュースなどで濡らさない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 指定以外の充電器で充電しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- 充電台を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕



警告

発熱・破裂・発火・感電による事故や大けがを防ぐために



禁止

- 充電・保管時の異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは使わない
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- ご使用済のバッテリーは一般家庭ゴミとしてすてない
〔すてられたバッテリーがゴミ収集車内で破壊されてショートし、発火・発煙になる原因〕
 - バッテリーを処分する P31~33



指示を守る

- 充電時、所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜く
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときには直ちに火気より遠ざける
〔発熱・破裂・発火の原因〕
- バッテリーが漏液して目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける
〔放置すると液により、目に障害を与える原因〕



注意

火災・感電・けがなどを防ぐために



禁止

- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温になるおそれがある場所に放置しない
〔発熱・発火・漏液する原因〕



指示を守る

- 室温約5℃～約35℃の範囲で使う
〔発熱・発煙・破裂・発火の原因〕
- 製品廃棄時 P31~33
- バッテリーの金属端子部が露出したものは、ビニールテープなどで必ず絶縁する
〔ショートにより発火・発煙の原因〕
- バッテリーが漏液して皮膚や衣服についたときは、直ちにきれいな水で洗い流す
〔皮膚がかぶれたりする原因〕

故障などを防ぐために

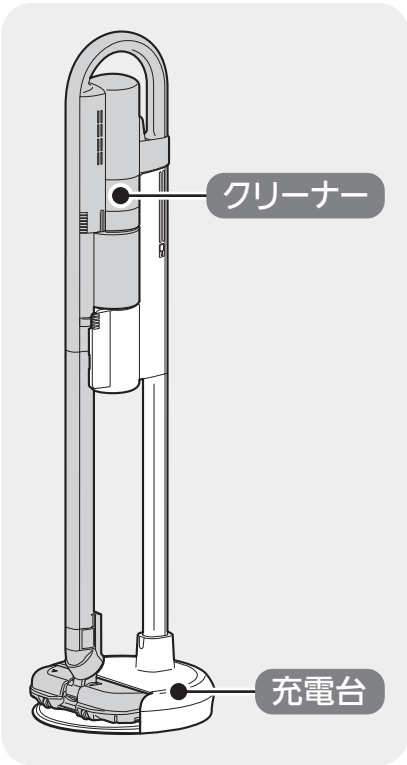


この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
また、次のことをお守りください。

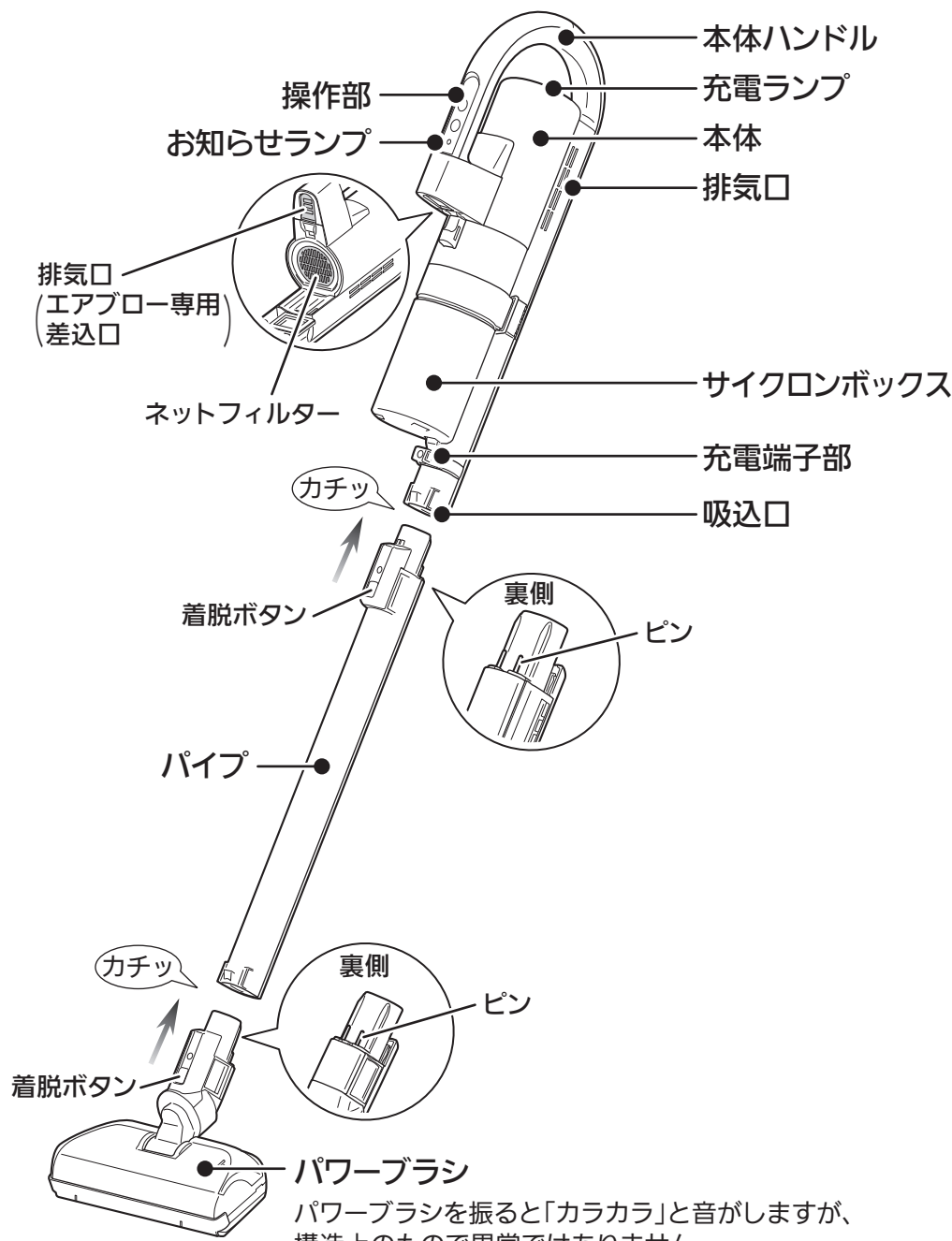
- パイプなどのピンにさわらない
- 吸込口・パイプの先で吸わない
(付属のブラシ・ノズルなどをつけて使用する)
- お手入れするときは、アルコール・ベンジン・シンナー・洗剤などを使わない
〔変質や変色・変形の原因〕
- 殺虫剤、消臭剤などをかけない
- エアブロー機能をお掃除以外の目的に使わない
- 次のようなものは吸わせない
〔故障や詰まり、異臭の原因〕
 - 水などの液体や、湿ったゴミ
 - ガラス、ピン、針、つま楊子、綿棒
 - 多量の砂や粉
(ペット用砂・パウダー状の粉など)
 - 除湿剤(湿気取り)
 - ペットなどの排泄物が付着したもの
 - くつした、ティッシュペーパー、ビニール袋、長いひも
 - カーペットのふさなど

各部のなまえ

- パイプ・パワーブラシ・毛ブラシは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- はずすときは、着脱ボタンを押しながら抜いてください。

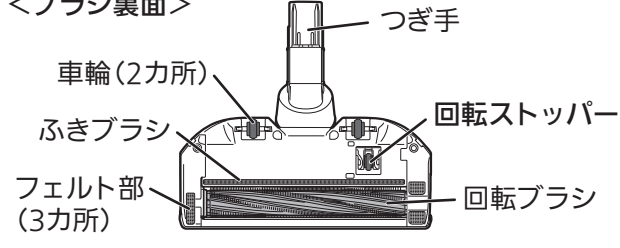


クリーナー



パワーブラシを振ると「カラカラ」と音がしますが、構造上のもので異常ではありません。

<ブラシ裏面>

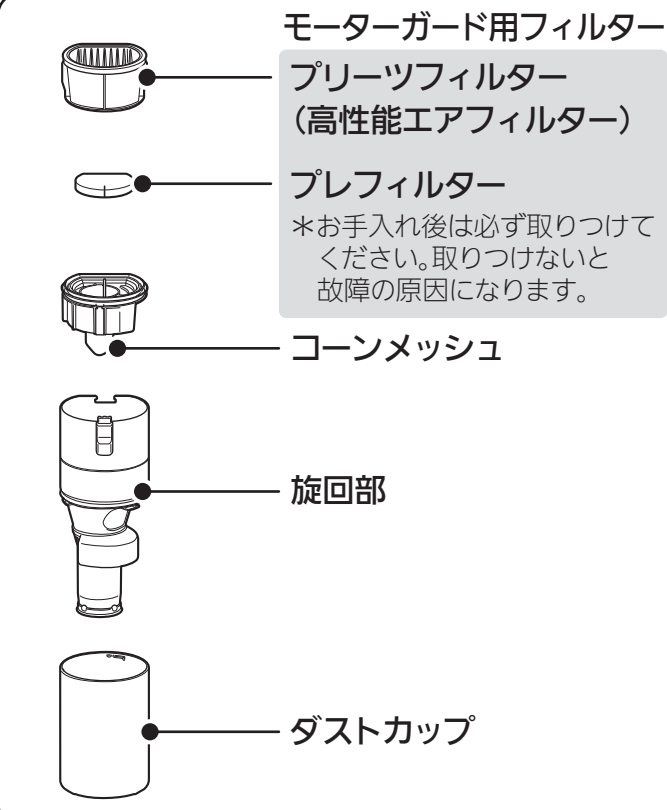


「回転ストッパー」は、パワーブラシを床面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転を止める機構です。

お知らせ

- 製品の一部に樹脂の色が変化して見える箇所がありますが、素材の見えかたによるもので、品質上問題はありません。
 - 排気口以外のすき間から、モーターの熱で暖められた空気が出ます。
 - 夏場などは、本体・排気の温度が熱く感じる場合があります。
- 異常ではありません。

- ゴミをすてる P18~19
- お手入れ P20~21



付属品

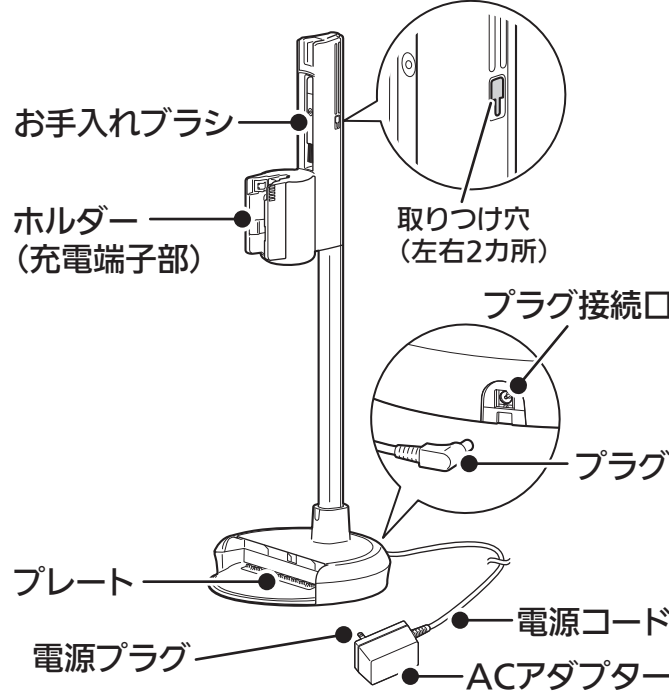
標準付属品 上記の充電台も標準付属品です。



応用付属品 お掃除場所に合わせてご使用ください。P16~17

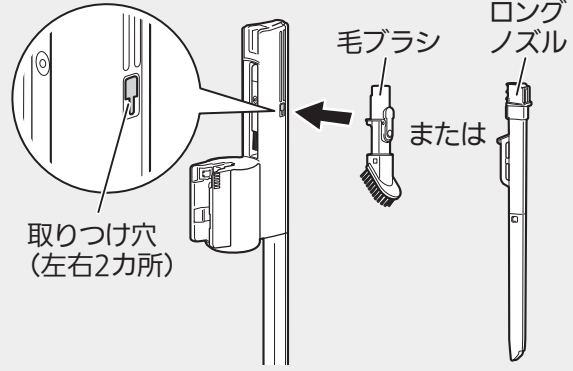


充電台



毛ブラシ・ロングノズルの収納

取り付け穴に毛ブラシまたはロングノズルを取りつける



使つまえ

準備する(充電する・収納する)

1 充電台を設置する

- 水平で安定した場所に設置する
(倒れたときに周囲の物が破損しない場所を)
選んでください
- 室温約5℃～約35℃の場所に設置する

設置について知っておいて いただきたいこと

- 直射日光が当たっている場所や暖房器具の近くに設置しないでください。
[変形・変色・変質の原因]
- テレビやラジオにノイズが入ったときや、電波時計が正しい時刻を表示しないときはできるだけ離して設置してください。また、それらの機器と同じコンセントに電源プラグを差し込まないでください。

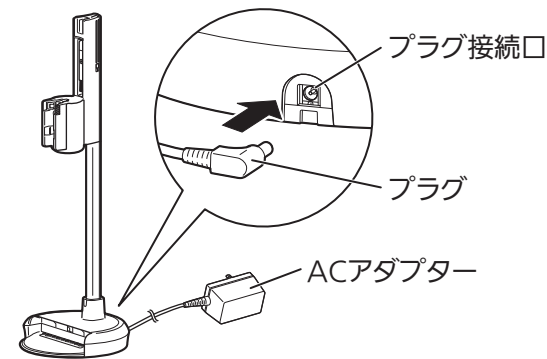
注意

クリーナーを充電台にセットするときは、パイプ・パワーブラシを取りつける指示を守る [落下して、けがや床面などに傷がつく原因]

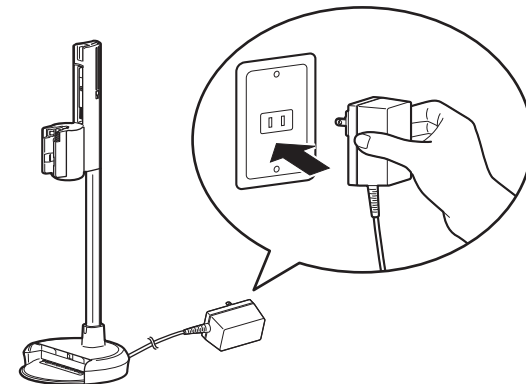
- おねがい
- 必ず充電台を設置してから、クリーナーをセットしてください。
 - 移動するときは、充電台とクリーナーは別々に持ち運んでください。充電台とクリーナーをセットした状態で持ち運ぶと、クリーナーが充電台からはずれて落下する原因になります。

2 ACアダプターを接続する

- ① ACアダプターのプラグを充電台のプラグ接続口に差し込む



- ② ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む



- おねがい
- 電源プラグを差し込んだときに火花が出る場合があります。
(本体内部の電気部品に充電するための電気が流れるためです。異常ではありません。)
 - ACアダプターがコンセントに差し込まれている状態では、0.4Wの電力を消費しています。

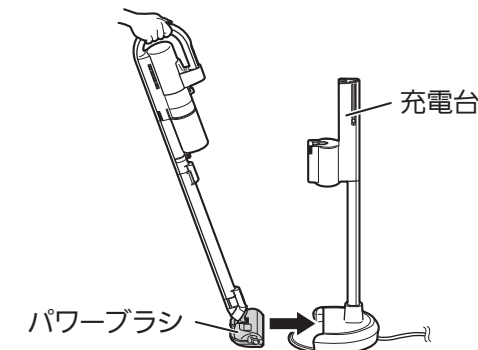
3 クリーナーを充電台にセットして充電(収納)する

- 工場出荷時はバッテリーが充電されていません。ご使用前に、必ず本体の充電ランプが消灯(満充電)するまで充電してください。
- 満充電にした後も、電源プラグを差したままにしてください。定期的に補充電をします。



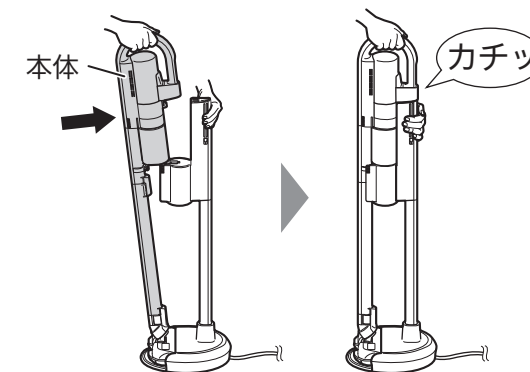
スティックの充電(収納)

- ① パワーブラシを充電台の奥まで押し込む

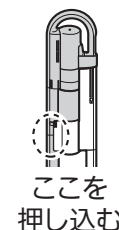


- ② 充電台を手で押さえながら、本体を押し込む

- 充電ランプ(青)が点灯していることを確認してください。
- パワーブラシでお掃除した後に充電台にセットすると、回転ブラシ自動クリーニング機構 P15 が作動し、その後、充電ランプ(青)が点灯します。



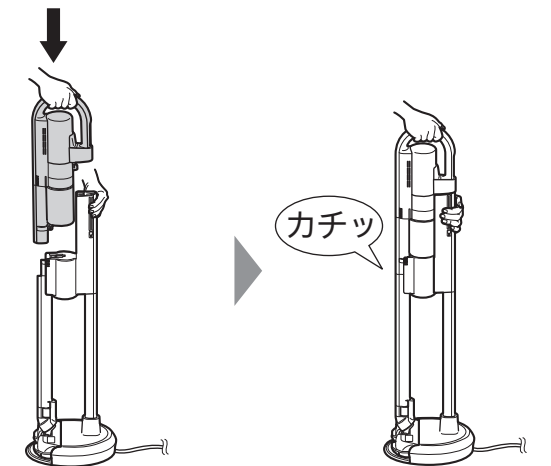
- おねがい
- クリーナーを充電台にセットしても、充電ランプが点灯しないときは、本体とパイプの接続部を充電台に押し込んでください。
 - クリーナーを充電台にセットするときは、手を挟まないように気をつけてください。
 - 長期間使用しないで保管するときは、ACアダプターを抜いてください。



ハンディの充電(収納)

充電台を手で押さえながら、本体をまっすぐ充電台に押し込む

- 充電ランプ(青)が点灯していることを確認してください。
- パワーブラシでお掃除した後に充電台にセットすると、回転ブラシ自動クリーニング機構 P15 が作動し、その後、充電ランプ(青)が点灯します。

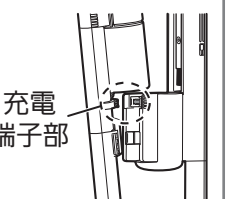


充電ランプ

充電中	満充電
点灯(青)	消灯

- 充電時間は約180分です。
(室温やバッテリー残量によって変化します)

- お知らせ
- 充電時間や運転時間はバッテリー残量や周囲の環境で変化場合があります。
 - 充電中に本体やACアダプターが熱くなりますが、異常ではありません。
 - 充電完了直後は、本体・ACアダプター・充電端子部が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。



お掃除する

■充電台を手で押さえながら、クリーナーをはずす

1 運転を始める

を押す • お知らせランプ(橙)が点灯し、「自動」で運転が始まります。

■運転モードを変えるとき

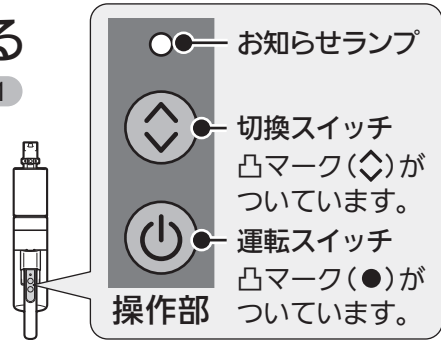
を押す • 押すごとに、「標準」「強」「自動」運転が切替わります。

2 運転を止める

を押す • お知らせランプが消灯し、運転が止まります。

3 充電する

P11

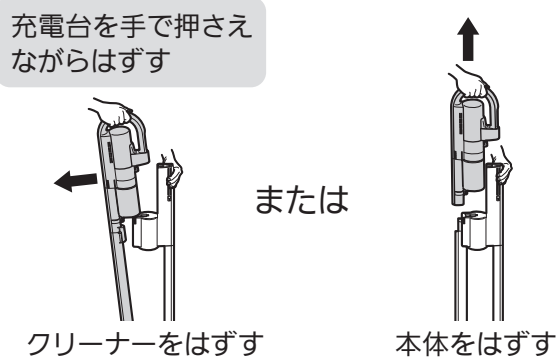


お知らせランプ	
 点灯(橙)	「自動」運転でお掃除中
 点灯(緑)	「標準」「強」運転でお掃除中
 点滅(橙または緑)	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。 P11
 点滅(赤)	お手入れ時期です。 ●運転を止めてからダストカップのゴミをすて、プリーツフィルター・プレフィルターをお手入れしてください。 P18~21 ●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まっている場合は、取り除いてください。 P26
お知らせ ●この状態で運転を続けると、保護装置が働き運転が止まります。 P30 ●ダストカップのゴミをすてラインよりゴミが少なくても、ゴミの種類によっては、お知らせランプ(赤)が点滅することがあります。	

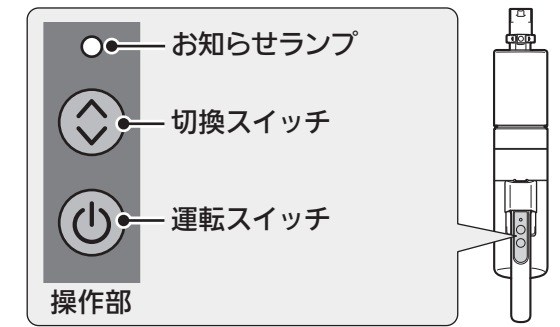
傾き検知機能(らく傾き検知機能を設定する)

工場出荷時は、「傾き検知機能」が働かない設定になっています。
充電後、下記の手順で働く設定にしてください。

①クリーナー(本体)を充電台からはずす



②運転が止まった状態で、「切替スイッチ」を約4秒間長押しする
→お知らせランプ(緑)が約1秒間点灯し、設定完了



<「傾き検知機能」を働かない設定に戻したいとき>

上記①②を行なってください。
→お知らせランプ(赤)が約1秒間点灯し、設定完了

設置場所の移動・引越し・長期間使用しないで保管するとき

意図せず運転が始まる場合があるため、「傾き検知機能」を働かない設定に戻してください。または、バッテリーを使い切ってください。

イックモーション)でお掃除する スティックで使う

運転を始める

クリーナーを充電台からはずして手前に傾ける



■運転モードを変えるとき

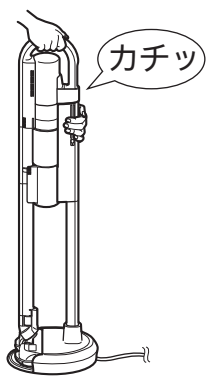
を押す • 押すごとに、「標準」「強」「自動」運転が切替わります。

運転を中断する

を押す • お知らせランプが消灯し、運転が止まります。
●再度、運転を始めるときは、を押してください。
または、クリーナーを床面に対して垂直に立てて静止させてから手前に傾けてください。
●停止時の運転モードを記憶しています。

運転を止める/充電する

クリーナーを充電台にセットする P11

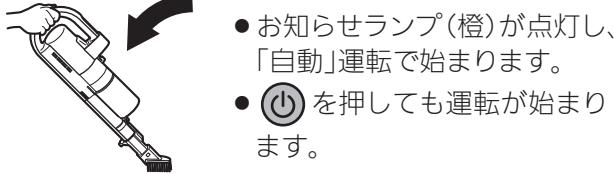


●運転したままクリーナーを充電台にセットしても運転が止まります。
●充電台にセットすると、運転モードはリセットされます。

ハンディで使う

運転を始める

付属品を取りつけ P14、本体をまっすぐ立ててから傾ける



■運転モードを変えるとき

を押す • 押すごとに、「標準」「強」「自動」運転が切替わります。

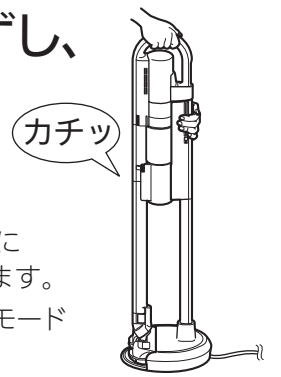
付属品の取り付け・取りはずし時に、「傾き検知機能」により運転が始まる場合があります。運転スイッチを押して運転を止めてから、付属品の取り付け・取りはずしをしてください。

運転を止める

を押す • お知らせランプが消灯し、運転が止まります。
●再度、運転を始めるときは、を押してください。
または、本体を床面に対して垂直に立てて静止させてから手前に傾けてください。
●停止時の運転モードを記憶しています。

充電する

付属品を取りはずし、本体を充電台にセットする P11



●運転したまま本体を充電台にセットしても運転が止まります。
●充電台にセットすると、運転モードはリセットされます。

パワーブラシでお掃除した後に充電台にセットすると、回転ブラシ自動クリーニング機構 P15 が作動し、その後、充電ランプ(青)が点灯します。

付属品を取りつける

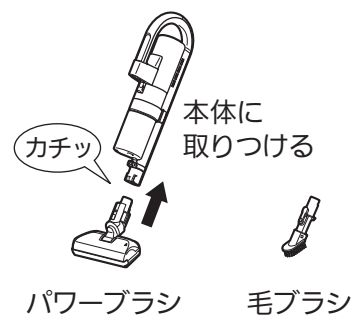
スティックで使う

■パワーブラシ/毛ブラシを取りつける



ハンディで使う

■パワーブラシ/毛ブラシを取りつける

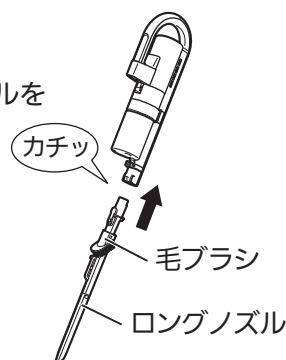


■ロングノズルを取りつける

①毛ブラシにロングノズルを差し込む



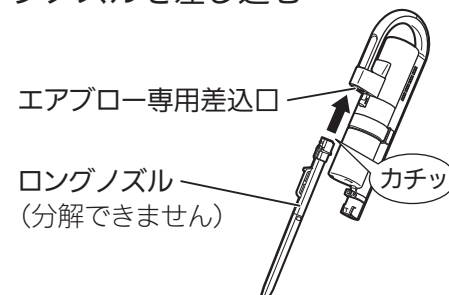
②毛ブラシ+ロングノズルを本体に取りつける



エアブロー機能を使う

「傾き検知機能」で使うこともできます。P12~13

①ハンディの状態、エアブロー専用差込口にロングノズルを差し込む



②運転を始める



を押す

- お知らせランプ(橙)が点灯し、「自動」運転が始まります。
- 切換スイッチを押すごとに、「標準」「強」「自動」運転が切り替わります。
- ※「自動」運転を選んだ場合は、「標準」運転と同じ吸込力で運転します。吸込力は自動的に変化しません。

③運転を止める



を押す

- お知らせランプが消灯し、運転が止まります。

④ロングノズルを引き抜く

- 吸込口から吸引しています。エアブロー機能使用時は、身につけている衣類などが吸い込まれないように気をつけてください。
- エアブロー機能を使うとホコリが舞い上がる場合があります。必要に応じて窓を開けたり、マスクを着用したりしてください。お部屋にホコリやゴミが残った場合は、クリーナーで吸い取ってください。

- こびりついた汚れは取れないことがあります。
- モーターを冷却した空気を利用しているため暖かい風が出ます。
- 次の場合は吹出風が弱くなります。ダストカップのゴミをすて、お手入れしてください。P18~21
- ダストカップにゴミがたまり過ぎている
- プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしている

回転ブラシ自動クリーニング機構について

パワーブラシでお掃除した後、クリーナーを充電台にセットすると、自動で数秒間パワーブラシの回転ブラシを回転させて、からみついた髪の毛などを除去します。除去された髪の毛などはサイクロンボックスに吸い込みます。

(バッテリー残量によって運転音が変わります。故障ではありません)

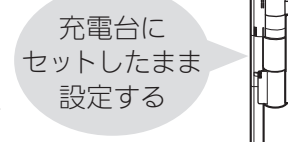
■回転ブラシ自動クリーニング機構を途中で停止したいとき 「運転スイッチ」を押す

■工場出荷時は、「回転ブラシ自動クリーニング機構」が働く設定になっています。働かせたくないときは、下記の手順で設定してください。

①ACアダプターのプラグを充電台のプラグ接続口に差し込み、ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

②クリーナーを充電台にセットする

③運転が止まった状態で、「切換スイッチ」を約4秒間長押しする →お知らせランプ(赤)が3回点滅し、設定完了

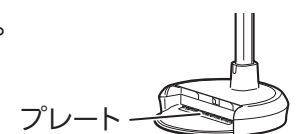


<「回転ブラシ自動クリーニング機構」が働く設定に戻したいとき> 上記①~③を行なってください。

→お知らせランプ(緑)が3回点滅し、設定完了

- 充電ランプ(青)が早点滅するとき
→パワーブラシの保護装置が働いています。P22
パワーブラシをお手入れしてください。P22~23
- 回転ブラシ自動クリーニング機構の動作がいつもより短いとき
→クリーナーの保護装置が働いています。P30
ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。P18~21

- からみついたゴミの種類や髪の毛の量によっては、除去できない場合があります。除去できない場合は、パワーブラシをお手入れしてください。P22~23
- 充電台のプレート周辺にパワーブラシの回転によるこすれ跡がつかます。充電台をお手入れしてください。P24

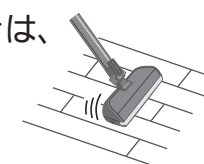


回転ブラシ自動クリーニング機構が動作中、充電ランプは消灯します。
(パワーブラシでお掃除したあとは、パワーブラシを取りつけずにクリーナーを充電台にセットすると、約1秒間動作音がしますが、故障ではありません)

「自動」運転について

パワーブラシでお掃除中、床面に合わせて吸込力を自動でコントロールします。パワーブラシ以外を取りつけているときは、「標準」運転で運転します。

フローリングなどのときは、吸込力を抑えて運転
(「標準」運転)



じゅうたんなどのときは、吸込力を強くして運転
(「強」運転)



お掃除のしかたや床面の種類によっては、同じ床面をお掃除していても、吸込力が切り替わる場合や「自動」運転が働かない場合があります。気になる場合は、「標準」または「強」運転に切り替えてください。

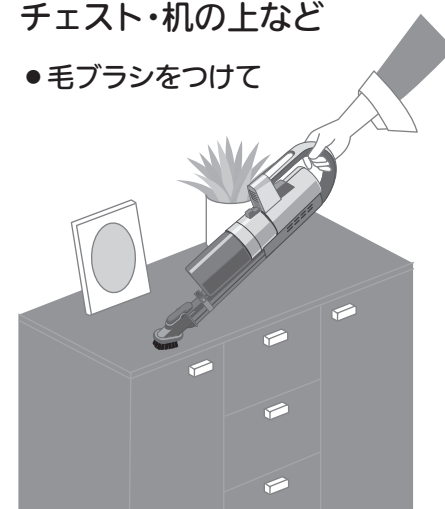
上手なお掃除

- お部屋を整頓してからクリーナーを使用すると、手際よくお掃除でき、電気のムダを省けます。
 - お掃除の場所ごとに付属品を使い分けてお掃除しましょう。
 - エアブロー機能を活用すると、パワーブラシが入らない狭い場所のホコリやゴミなどを掃き出して取り除くことができます。
- デリケートな家具やピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。

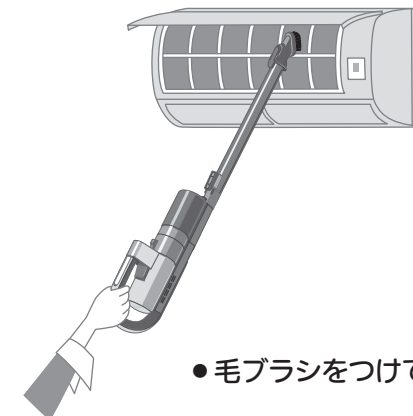


お掃除を始める前に、大きめのゴミ(お菓子の包装紙など)は拾ってください。吸込口・パイプ・パワーブラシの風路に詰まる原因になります。

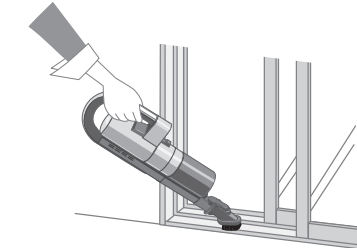
チェスト・机の上など
●毛ブラシをつけて



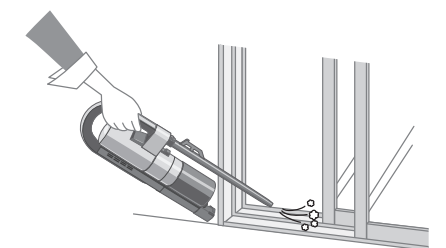
エアコン・照明器具・換気扇のフィルター
●毛ブラシをつけて



カーテンレールやサッシレールなど

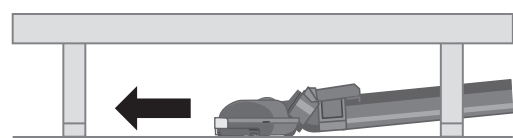


●毛ブラシをつけて



●ロングノズルをつけて、エアブロー機能でホコリを掃き出す P14

ベッドやソファの下
●パワーブラシをつけて

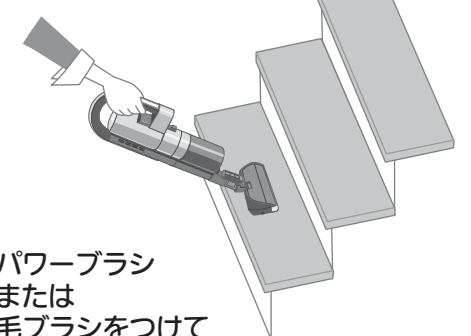


じゅうたん

●パワーブラシをつけて

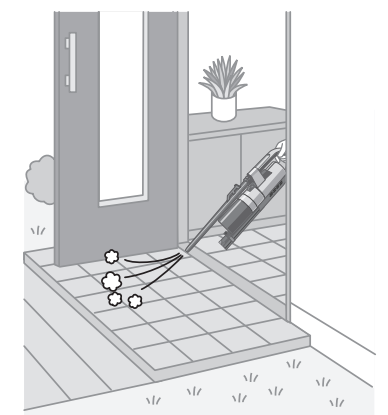
ブラシ自走機能により、軽い操作でお掃除できます。(ただし、床面の種類によってはブラシ自走機能が発揮されないことがあります)
毛足の長いじゅうたんなど、吸いついて動かしにくいときは、「標準」運転でお掃除してください。

階段



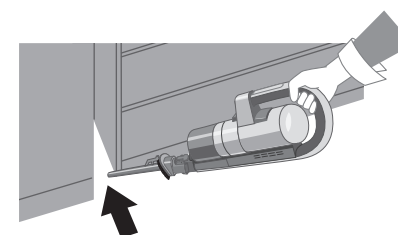
●パワーブラシまたは毛ブラシをつけて

玄関



●ロングノズルをつけて、エアブロー機能でホコリを掃き出す P14

狭いすき間など



●毛ブラシ+ロングノズルをつけて P14

<パワーブラシについて>

- 床面にゆっくり置いてください。落とすように置くと、回転ブラシが回転しないことがあります。
- 同じ場所をくり返しお掃除しないでください。
- パワーブラシは押しつけず、たたみの目やフローリングの目に沿ってゆっくり動かしてください。〔車輪などで床面に跡がつく原因〕(特にクッションフロアやひのき・杉などのデリケートな床面)

おねがい

お知らせ

- 新しいじゅうたんは、初めのうち「遊び毛」が抜けます。
- 床用ワックスなどをご使用の場合、塗布面に跡がついたり、こすれて光沢に差が出たりすることがあります。
- お掃除中は、テレビ画面にノイズが発生することがあります。(テレビ本体に影響はありません)
- パワーブラシを砂ゴミの上で使うと、床面に跡がつくことがあります。
- じゅうたんなど床面の種類によっては、パワーブラシと床面との摩擦により、衣類の着脱時に起こるような静電気がサイクロンボックスやパイプなどに発生する場合があります。(これはバッテリーから発生する電気ではありません)

運転時間のめやす

(バッテリー初期・室温20℃・満充電の場合)

自動	約10分～約40分
標準	約40分
強	約10分

※ご使用方法や周囲の環境によって変化します。

使いかた

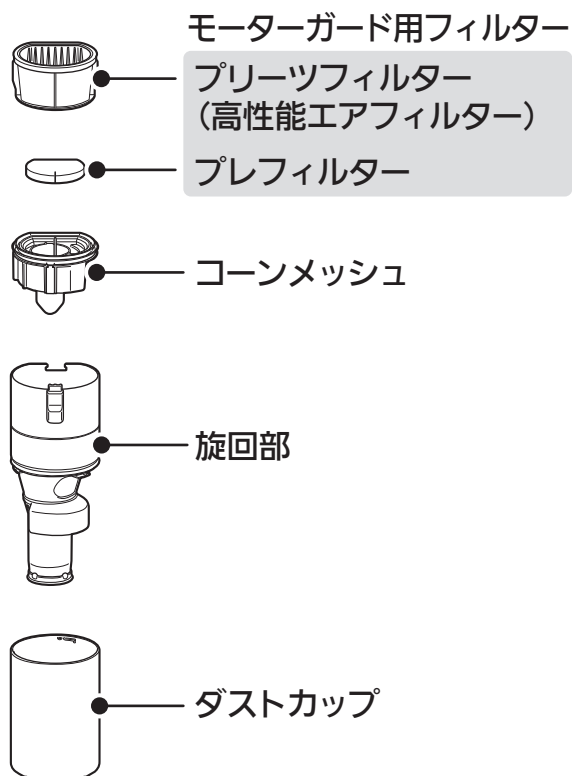
ゴミをすてる

ゴミすてラインを
超える前に、
必ずゴミをすてて
ください。

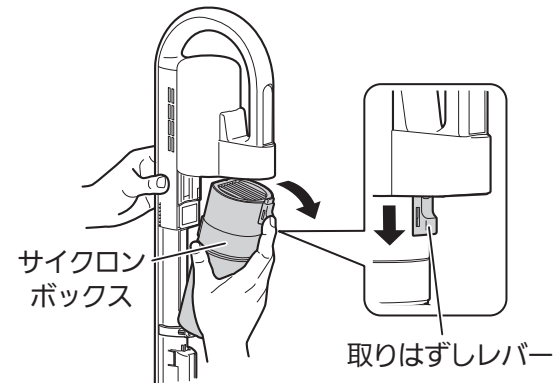
ゴミの種類により、
ゴミのたまる位置が異なります。

ゴミすてラインを超えてからも
ゴミを吸い続けた場合
●吸込力が低下する原因になります。
●サイクロンボックスのお手入れが
必要になります。P20~21

サイクロンボックス



1 本体を立てた状態で
サイクロンボックスをはずす
取りはずしレバーを下げながら、はずす

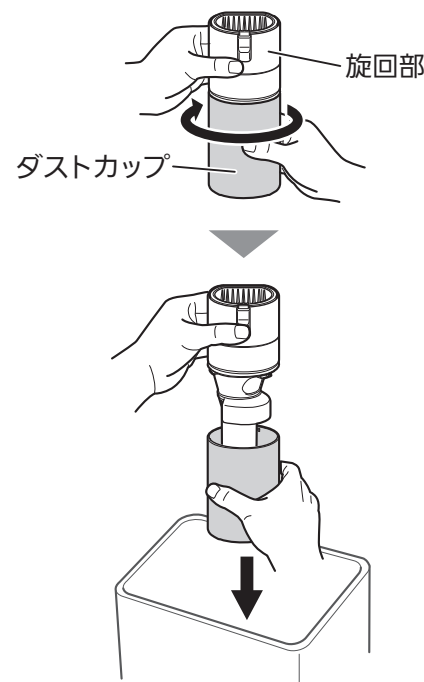


2 ダストカップをはずす

①サイクロンボックスを軽くたたく
(サイクロンボックスの内壁についた)
ホコリが落ちます



②ダストカップを矢印の方向に回し、
旋回部からはずす



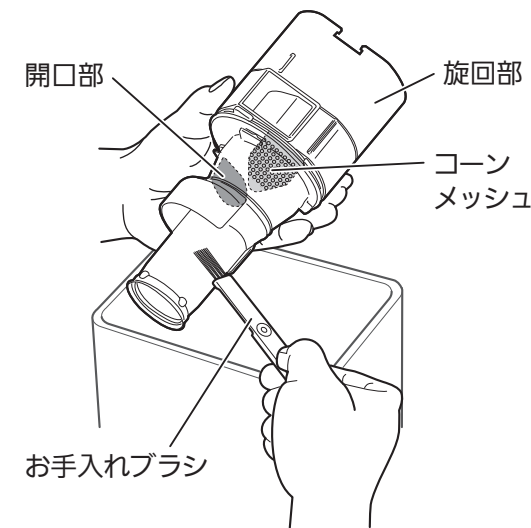
吸込力を持続させるために、お掃除ごとのゴミすてをおすすめします。

3 ゴミをすてる

①ゴミをすてる



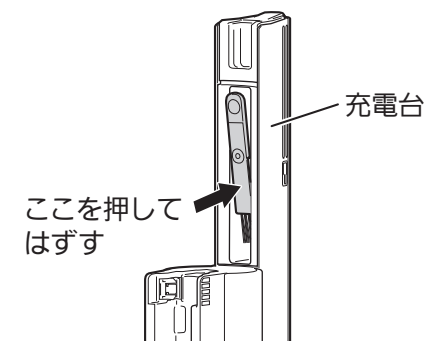
②付属のお手入れブラシでゴミを落とす



おねがい
旋回部・開口部・コーンメッシュにゴミ
がからんだり、詰まっている場合は、
お手入れしてください。そのまま運転
を続けると、保護装置が働いて運転が
止まります。P30

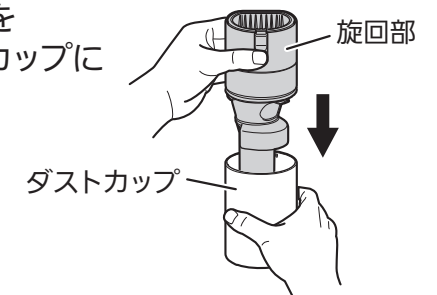
お手入れブラシ

- 付属のブラシ以外は使わない
- 使い終わったら元に戻す

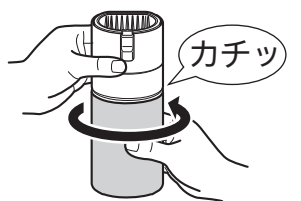


4 旋回部をダストカップに
確実に取りつける

①旋回部を
ダストカップに
入れる



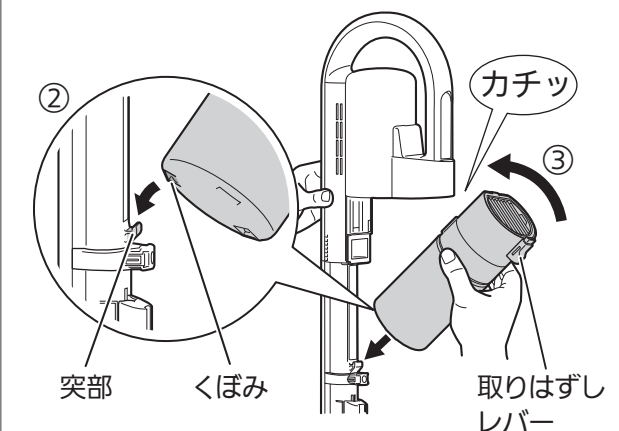
②「カチッ」と音がするまで、
ダストカップを
矢印の方向に回す



おねがい
プリーツフィルター・プレフィルターが
はずれたときは、取りつけてください。P21

5 サイクロンボックスを
確実に取りつける

- ①プリーツフィルター・プレフィルターが
正しく取り付けられていることを確認する
- ②サイクロンボックス底部のくぼみを
本体の突部に差し込む
- ③「カチッ」と音がするまで押し込む



おねがい
本体にサイクロンボックスを取りつけ
られないときは、ダストカップが旋回部
に正しく取り付けられているか(手順4)
を確認してください。

お手入れ

サイクロンボックス サイクロンボックスの部品は全て水洗いできます。

■お知らせランプ(赤)が点滅したとき P12、吸込力が弱くなったとき、充電してもすぐに運転が止まる時

1 ゴミやホコリを落とす

プリーツフィルター

- ①つまみを持ってはずす
フィルターを直接持たない
 - ②新聞紙などの上でしっかりたたいて裏面のゴミやホコリを落とす
(フィルターの奥にゴミやホコリが付着します)
- パックン(つまみ)を上にする
トン トン
- ここをチェック! ゴミやホコリが出なくなるまでしっかりたたく

おねがい

- お手入れブラシでこすらないでください。[プリーツフィルターが破れる原因]
- パックンがはずれたときは、取りつけてください。

プレフィルター

- ①取り出す
なくさない
- ②お手入れブラシ P19 でプレフィルター下面に付着したゴミやホコリを取り除く

コーンメッシュ

- ①つまみを持ってはずす
- ②お手入れブラシ P19 でゴミやホコリを落とす

旋回部

- ①ダストカップを矢印の方向に回し、旋回部からはずす
 - ②お手入れブラシ P19 でゴミやホコリを落とす
- 内部にゴミが詰まっていたら取り除く

ダストカップ

- お手入れブラシ P19 でゴミやホコリを落とす



プリーツフィルターを“トントン”としっかりたたくことがポイントです。詰まったゴミやホコリが落ちて、吸込力が戻ります。



- 新聞紙などの上に置いて、サイクロンボックスをお手入れしてください。
- パッキン類ははずさないでください。

2 旋回部をダストカップに確実に取りつける

- ①旋回部をダストカップに入れる
- ②「カチッ」と音がするまで、ダストカップを矢印の方向に回す

3 ①コーンメッシュ ②プレフィルター ③プリーツフィルターの順に取りつける

- ③
 - ②
 - ①
- 反対側
つまみを凹部に合わせる
- プリーツフィルター・プレフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。

■水洗いするとき

各 부품のゴミやホコリを落としてから流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる

(十分に乾燥させないと、故障やにおいの原因になります)

- ①各 부품のゴミやホコリを落とす P20

- ②水で洗う <プリーツフィルター>



つまみを下にする

- <プレフィルター> <コーンメッシュ>



なくさない

- <旋回部>



- <ダストカップ>



- ③5回以上振って、よく水を切り、軽くふく

- ④陰干しで約1日乾かす

おねがい

- 洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコール・たわしなどは使わないでください。
- お湯で洗ったり、つけ置き洗いをしたりしないでください。
- 洗濯機で洗ったり、暖房器具やドライヤーで乾燥したりしないでください。[ヒビ割れや変形、変色の原因]

- プリーツフィルター・プレフィルターは消耗部品です。お手入れしても吸込力が弱い場合は交換してください。 P35
- お手入れブラシは消耗部品です。消耗したら交換してください。 P35
- ネットフィルターにゴミがたまっていたらお手入れしてください。 P27

パワーブラシ

パワーブラシ本体は水洗いできません。
(回転ブラシのみ水洗いできます)

水洗い不可

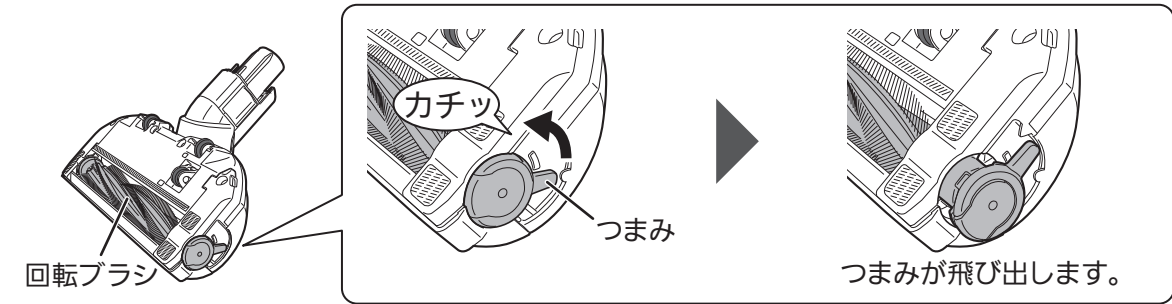
■お掃除ごとのお手入れをおすすめします。

1

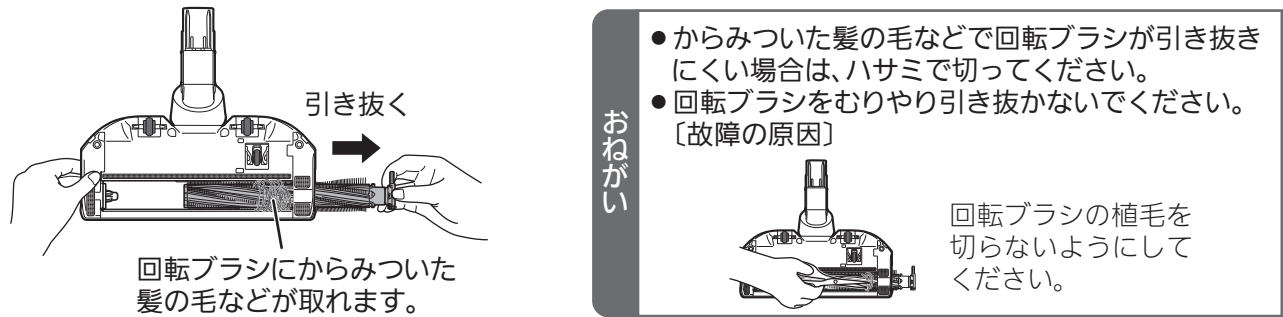
回転ブラシをはずす

※必ずパイプからはずして、お手入れしてください。

①つまみを矢印方向に回し、回転ブラシのロックをはずす

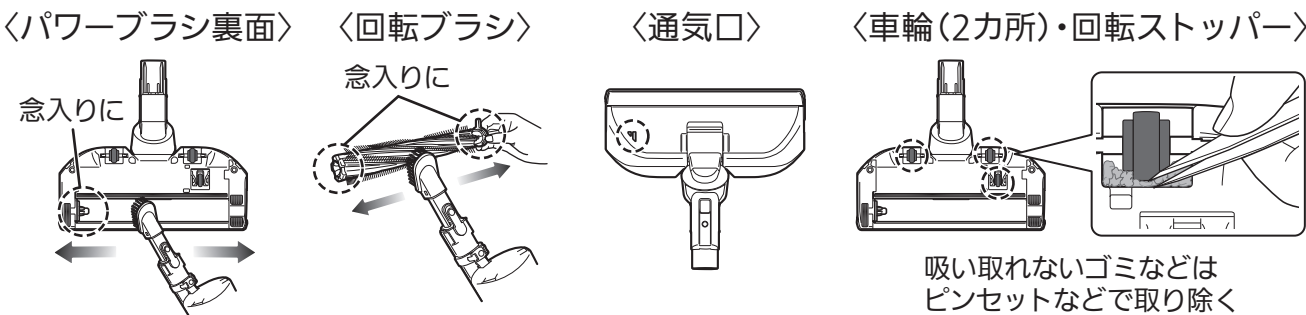


②つまみを持って、回転ブラシを引き抜く



2

毛ブラシでお掃除する



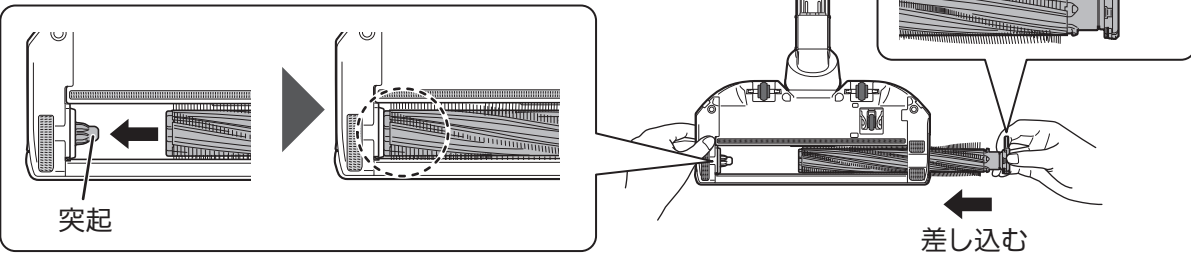
●通気口にゴミがついたままだと、保護装置が働きやすくなります。

原因	直しかた
●毛足の長いじゅうたん・凹凸のあるじゅうたんをお掃除した ●パワーブラシをじゅうたんや床面に強く押しつけた ●回転ブラシを回転させたまま、長時間放置した	①運転を止める ②約1分後に再度運転を始める
●回転ブラシに髪の毛・異物がからんでいる ●通気口にゴミがたまっただま使用した	①運転を止める ②パワーブラシをお手入れする

3

回転ブラシを取りつける

①回転ブラシの先端を突起に差し込む



②つまみをロックする



■水洗いするとき

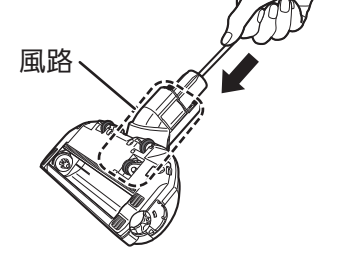
回転ブラシを流水で洗い、
陰干しで十分に乾燥させる



●洗剤・漂白剤などは使わないでください。
●暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
●回転ブラシに注油しないでください。
[変形・変色・故障の原因]

■風路内にゴミが詰まったとき

回転ブラシをはずし、
棒などで
ゴミを押し出す



●ゴミが詰まったまま運転を続けると、保護装置が働いて(お知らせランプ(赤)が点滅)、運転が止まる場合があります。

●回転ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P35
●車輪・ふきブラシ・フェルト部が摩耗したら、部品交換が必要となります(有料)。
その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

お手入れ(つづき)

■お手入れの前にはスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

充電台



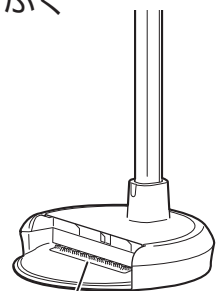
水洗い不可

■汚れが気になったとき

かたくしぼった柔らかい布でふく

■月に1回程度

プレート周辺をかたくしぼった
柔らかい布でふく



プレート

おねがい

アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。[変質や変色の原因]

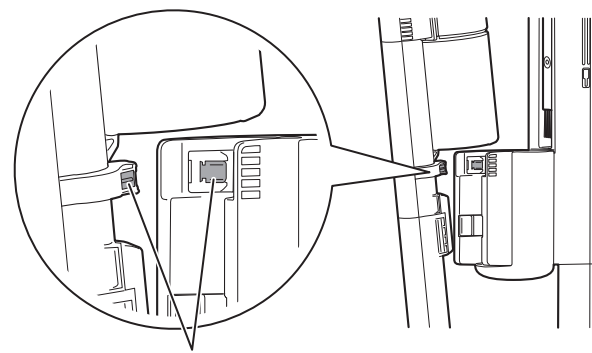
充電端子部



水洗い不可

■充電ランプが点灯しないとき、 または、ホコリや異物がついたとき

乾いた布で軽くふく



充電端子部

おねがい

●水ぶきは、しないでください。
●アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。
[充電端子部が腐食して、充電ができなくなる原因]

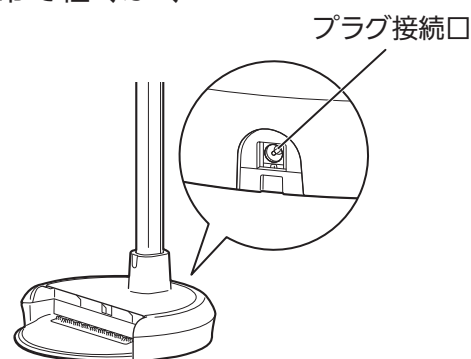
プラグ接続口



水洗い不可

■ホコリや異物がついたとき

乾いた布で軽くふく



プラグ接続口

おねがい

●水ぶきは、しないでください。
●アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。
[故障の原因]

本体



水洗い不可

■汚れが気になったとき

かたくしぼった柔らかい布でふく

おねがい

アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。[変質や変色の原因]

毛ブラシ・ ロングノズル



水洗い可

■汚れが気になったとき

流水で洗い、水分を切り
軽くふいてから、
陰干しで十分に乾燥させる



毛ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。 P35

長くお使いいただくために、ご確認ください。



プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりした状態でお掃除を続けると、
吸込力の低下や本体・パワーブラシの故障の原因になります。
プリーツフィルター・プレフィルターをこまめにお手入れしてください。 P18~21

お手入れのポイントは、プリーツフィルターを”トントン”としっかりたたくことです。

パッキン(つまみ)を上にする

トン
トン



フィルターの奥のゴミやホコリが
出なくなるまでしっかりたたく

<フィルターのお手入れはこちらを参考にしてください>

https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/faq/show/9492?category_id=585&site_domain=default



- サイクロンボックスのお手入れ後、プリーツフィルター・プレフィルターの
つけ忘れはありませんか。
→必ずプリーツフィルター・プレフィルターを取りつけてから運転してください。 P21
- 吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっていますか。
→ゴミを取り除いてください。 P26

■ゴミを吸いにくいとき、パワーブラシの操作がしにくいとき

- パワーブラシをお手入れしてください。 P22~23

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みいただき、次の点をお調べください。

当社ホームページ「よくあるご質問 FAQ」もご活用ください。
<https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/>



現象(症状)	原因の確認	処置(操作)方法	参照 ページ
傾き検知機能(らくイックモーション) クリーナー(本体)を傾けても 運転が始まらない	●「傾き検知機能」を働く設定に しましたか。	▶工場出荷時は、「傾き検知機能」が 働かない設定になっています。 働く設定にしてください。 P12	
	●クリーナー(本体)を床面に対して垂直に立てて静止させてから傾けてください。 または、充電台にセットしてから傾けてください。		
クリーナー	●バッテリー残量が少なくなっ ていませんか。	▶充電してください。 P11	
	●高温の使用環境(夏場の室内など)で連続して運転すると、バッテリーやモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて(お知らせランプ(赤)が点滅)、運転が止まります。涼しいところにしばらく放置してください。バッテリーやモーターが冷えて、保護装置が解除されます。		
	●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶クリーナーの保護装置が働いています。ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。 P30 P18~21	
	●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まっていますか。	▶クリーナーの保護装置が働いています。ゴミを棒などで取り除いてください。 P30	
	●ACアダプターの電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか。	▶コンセントにしっかり差し込んでください。 P10	
	●ACアダプターが充電台のプラグ接続口に差し込まれていますか。	▶ACアダプターを充電台のプラグ接続口に差し込んでください。 P10	

現象(症状)	原因の確認	処置(操作)方法	参照 ページ
●運転できない ●運転が止まる ●運転開始後、 すぐに止まる	●ふとんや衣類の圧縮袋を使用 していませんか。 ●ロングノズルの吸込口をふさい でお掃除していませんか。	▶吸込口を密閉すると、本体に負担が かかり保護装置が働きます。 ふとんや衣類の圧縮袋は使用しな いでください。 P30	
	●「傾き検知機能」を設定している場合、クリーナー(本体)を運転したまま 放置すると運転が止まる場合があります。		
意図せず 運転が始まる	●「傾き検知機能」を働く設定にしている場合、クリーナー(本体)の傾きを 検知して、自動で運転が始まります。 下記のような場面で運転が始まる場合があります。 運転スイッチを押して運転を止めてください。 ・クリーナー(本体)を持って移動するとき ・クリーナー(本体)を充電台にセットするとき ・サイクロンボックスを取りはずす、または取りつけるとき ・パワーブラシ・パイプ・毛ブラシ・ロングノズルなどを取りはずす、 または取りつけるとき 気になる場合は、「傾き検知機能」を働かない設定に戻してください。 P12		
クリーナー	●サイクロンボックスにゴミが たまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、 各部品をお手入れしてください。 P18~21	
	●サイクロンボックスを 正しく取りつけていますか。	▶正しく取りつけてください。 P19	
	●プリーツフィルター・プレフィルター が目詰まりしていませんか。	▶お手入れしてください。 P20~21	
	●プリーツフィルター・プレフィルター・ コーンメッシュ・旋回部を正しく取り つけていますか。	▶正しく取りつけてください。 P20~21	
	●吸込力が 弱くなった ●運転音が 大きくなった ●運転音に変化する ●異音がある	▶クリーナーの保護装置が働いています。 ゴミを棒などで取り除いてください。 P30 P26	
	●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ ロングノズルにゴミが詰まっ ていませんか。	▶お手入れブラシ P19 で 取り除いてください。	
	●バッテリー残量が少なくなっ ていませんか。	▶充電してください。 P11	
	●「自動」運転でお掃除中は、自動的に吸込力や運転音に変化します。 異常ではありません。		P15

故障かな？と思ったら(つづき)

現象(症状)		原因の確認	処置(操作)方法	参照 ページ
クリーナー	「自動」運転中に吸込力が自動で変わらない	● パワーブラシを取りつけていますか。	▶ パワーブラシを取りつけているときのみ、吸込力を自動でコントロールします。	P15
パワーブラシ	回転ブラシが回らない・回りにくい	● パワーブラシを床面から浮かせていませんか。	▶ 回転ストッパーが働いています。床面につけて動かしてください。	P8
		● 回転ブラシに髪の毛・異物がからんだり、通気口にゴミがたまったりしていませんか。	▶ パワーブラシの保護装置が働いています。お手入れしてください。	P22~23
		● 毛足の長いじゅうたん・凹凸のあるじゅうたんをお掃除していませんか。 ● パワーブラシをじゅうたんや床面に強く押しつけていませんか。	▶ パワーブラシの保護装置が働いています。一度運転を止めてから、約1分後に再度運転を始めてください。 (パワーブラシを強く押しつけずに操作してください)	P22
バッテリー	充電してもすぐに運転が止まる	● サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P18~21
		● プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶ お手入れしてください。	P20~21
	充電時間が長い(充電ランプが消えない)	● 低温(約5℃未満)の場所では充電できない場合があります。	▶ 約5℃~約35℃の場所で充電してください。	
		● 充電時間は本体の温度・周囲の環境で長くなる場合があります。(運転停止直後の充電・長い期間充電しなかったときなど)		
	運転時間が短い	● 低温の場所でお掃除すると、運転時間が短くなる場合があります。		
		● 満充電にした後でも、ACアダプターの電源プラグを抜いてから数日経過すると、運転時間が短くなる場合があります。	▶ 満充電にした後も、ACアダプターの電源プラグを差したままにしてください。 定期的に補充充電をします。	P10~11
		● バッテリーが劣化しています。 ● お手入れをしても運転時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。	▶ バッテリーの交換をお買い上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。	P31・34

現象(症状)		原因の確認	処置(操作)方法	参照 ページ
におい	排気のにおいが気になる	● サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P18~21
		● プリーツフィルター・プレフィルターが汚れていませんか。	▶ お手入れしてください。	P20~21
		● プリーツフィルター・プレフィルター・ダストカップを水洗いした後、十分に乾燥させていませんか。	▶ 十分に乾燥させてください。	P20~21
熱い	本体・本体排気風が熱くなる	● 夏場などは本体が熱くなることがあります。異常ではありません。		
		● モーターの熱により暖められた空気を排気しているため、熱く感じることがあります。異常ではありません。		
回転ブラシ 自動クリーニング機構 が動かない		● 運転後、本体を充電せずに放置していませんか。	▶ 充電してください。	P11
		● バッテリーが劣化すると動きません。	▶ バッテリーの交換をお買い上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。	P31・34
		● 本体を運転する前に、充電台にセットしていませんか。	▶ パワーブラシを取りつけて運転した後に、充電台にセットしてください。	P3・15
		● 回転ブラシ自動クリーニング機構を働かない設定にいませんか。	▶ ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、働く設定にしてください。	P15
充電ランプ	 充電しても点灯しない(充電できない)	● ACアダプターの電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	▶ コンセントにしっかり差し込んでください。	P10
		● ACアダプターが充電台のプラグ接続口に差し込まれていますか。	▶ ACアダプターを充電台のプラグ接続口に差し込んでください。	P10
		● 充電台にクリーナーを正しくセットしていますか。	▶ 本体とパイプの接続部を充電台に押し込んでください。	P11
	 点滅(青) (充電/運転できない)	● 充電端子部を乾いた布で軽くふいてください。		P24
		● 本体もしくはACアダプターの故障です。 使用を中止し、必ずACアダプターの電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」に修理をご依頼ください。		P34
	 早点滅(青) (回転ブラシ自動クリーニング機構が動かない)	● 回転ブラシに髪の毛・異物がからんでいませんか。	▶ パワーブラシの保護装置が働いています。お手入れしてください。	P22~23

現象(症状)		原因の確認	処置(操作)方法	参照 ページ
お知らせランプ		●バッテリー残量が少なくなっています。	▶充電してください。	P11
		●サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P18~21
		●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶お手入れしてください。	P20~21
		●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まっていますか。	▶ゴミを取り除いてください。	P26
		●ロングノズルの吸込口をふさいでお掃除していませんか。	▶「標準」運転でお使いください。それでも、点滅する場合は、各部品をお手入れしてください。	P20~21
		●高温の使用環境(夏場の室内など)で連続して運転すると、バッテリーやモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて(お知らせランプ(赤)が点滅)、運転が止まります。涼しいところにしばらく放置してください。バッテリーやモーターが冷えて、保護装置が解除されます。		

クリーナーの保護装置について (問合わせと修理を依頼される前に次のことをご確認ください)

バッテリーとモーターの過熱を防ぐために、クリーナーの吸込力が自動的に低下または停止します。クリーナーの吸込力が低下している状態で運転を続けると、モーターがさらに加熱され、運転が止まります。

次の場合に保護装置が働きます。

- プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりした
- サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎている
(ゴミの種類によっては、ダストカップのゴミすてラインより少ない量でも保護装置が働くことがあります)
- 吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まったまま運転した
- 吸込口や排気口をふさいで運転し続けた
- 高温環境で運転した

この状態で使い続けると、故障の原因になります。

直しかた

- ①運転を止める
- ②ダストカップのゴミをすてる P18~19
- ③サイクロンボックスをお手入れする P20~21
- ④吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まっていたら、取り除く P26
- ⑤涼しいところにしばらく放置する
→保護装置が解除されるまでしばらくお待ちください(時間は周囲温度によって異なります)。再び保護装置が働く場合は、③を再度確認してください。

●以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ずACアダプターの電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

●修理の際は、クリーナー・充電台・ACアダプターをセットでお預かりします。お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。

バッテリーの交換を依頼する

バッテリーは消耗部品です。くり返し使用すると使用時間は徐々に短くなります。また、周囲温度・使用時間など、ご使用の条件により充放電回数(寿命)が短くなります。正しく充電しても運転時間が著しく短くなった場合はバッテリーの寿命です。バッテリー交換をご依頼ください。

バッテリー交換の際は、クリーナー・充電台・ACアダプターをセットでお預かりします。お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。(有料) P34

バッテリー交換を依頼される前に知っておいていただきたいこと

資源有効利用促進法に基づき、使用済みのバッテリーは回収させていただき、一般社団法人 JBRCへリサイクルを委託させていただきます。ご協力をお願いします。

お知らせ

- バッテリーの交換は、満充放電 約3,000回*がめやすです。
- バッテリーの寿命は周囲の温度・使用頻度など、お使用の環境・条件などによって異なります。

※JEMA自主基準(HD-10)により測定。(試験方法:周囲温度20℃±5℃、「強」運転にて、バッテリーが初期容量の60%に低下するまで満充放電をくり返す試験)

 危険

 改造・分解しない
[発熱・破裂・発火の原因]
禁止

製品を廃棄する(バッテリーを処分する)

製品を廃棄するときは、以下の手順で本体内蔵のバッテリーをはずし、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。以下のホームページから全国各地のリサイクル協力店が簡単に検索できます。一般社団法人 JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com>

<準備するもの>

小型マイナスドライバー・プラスドライバー・ビニールテープ
(工具の取扱いに気をつけてください)

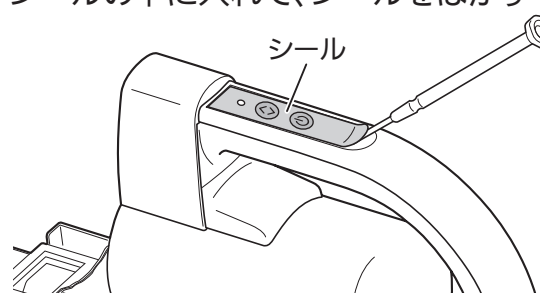
1 バッテリーを使い切る

本体操作部の  を押して運転しなければ、バッテリーを使い切っています。

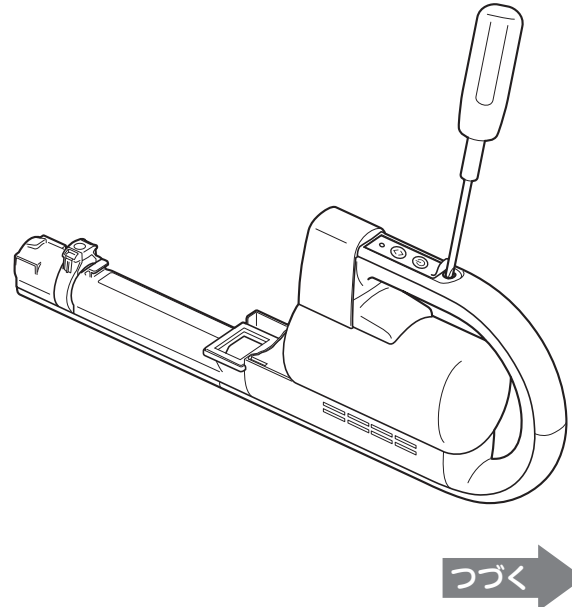
2 サイクロンボックスをはずす P18

3 操作部のシールをはがす

小型マイナスドライバーをシールの下に入れて、シールをはがす



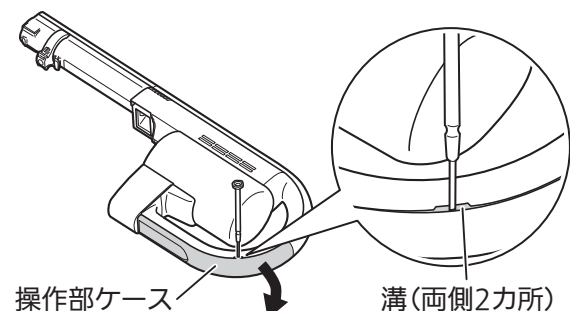
4 シール下のネジ(1本)をプラスドライバーではずす



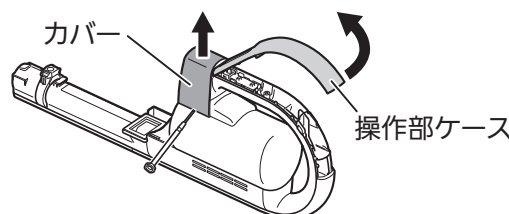
つづく

5 操作部ケース・カバーをはずす

①小型マイナスドライバーを溝(両側2カ所)に入れてツメをはずし、操作部ケースを上にあげる

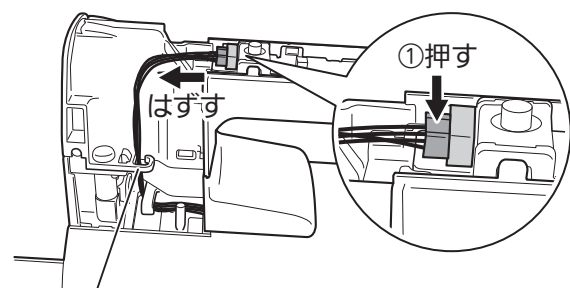


②小型マイナスドライバーをすき間(両側2カ所)に入れてツメをはずし、操作部ケース・カバーをはずす



6 基板のコネクターをはずす

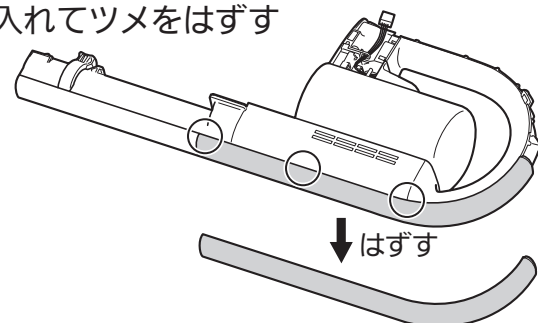
①コネクターのツメを押しながらはずす



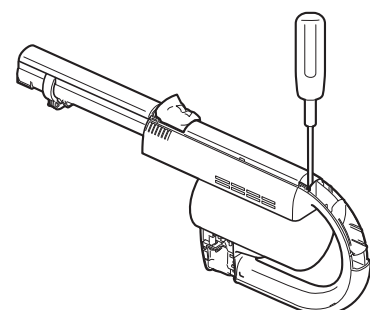
②リード線をフックからはずす

7 ハンドル下部ケースをはずす

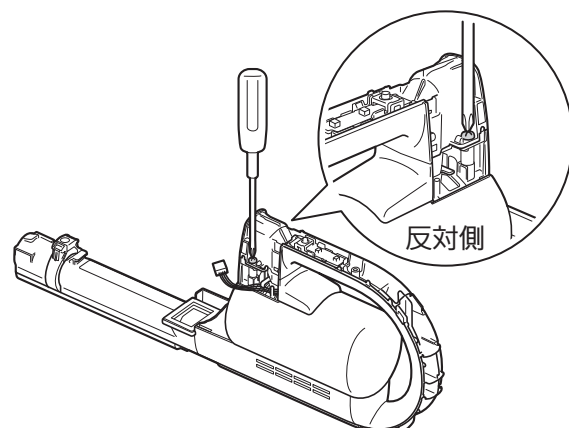
小型マイナスドライバーを溝(両側6カ所)に入れてツメをはずす



8 ネジ(1本)をプラスドライバーではずす

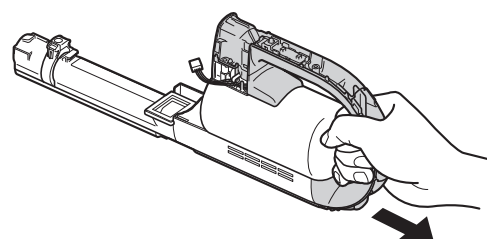


9 ネジ(両側2本)をプラスドライバーではずす

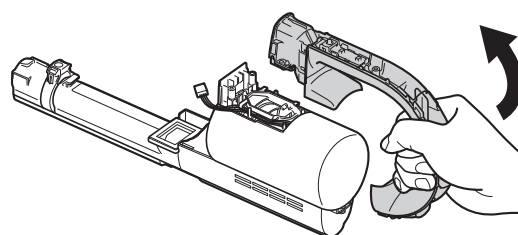


10 ハンドルをはずす

①ハンドルを手前に引く

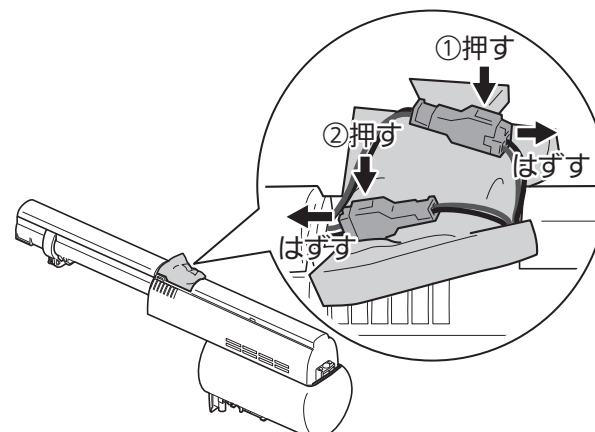


②ハンドルを上にあげてはずす

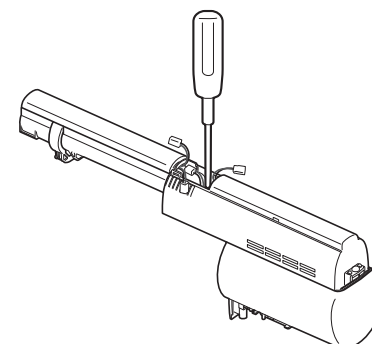


11 スポンジを開き、コネクター(2カ所)をはずす

コネクターのツメを押しながらはずす

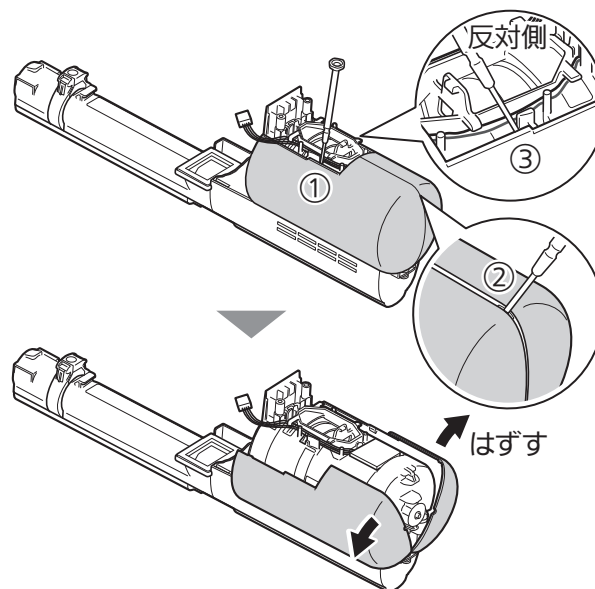


12 ネジ(1本)をプラスドライバーではずす

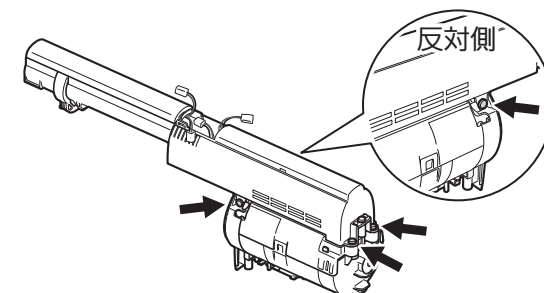


13 モーターケース(両側)をはずす

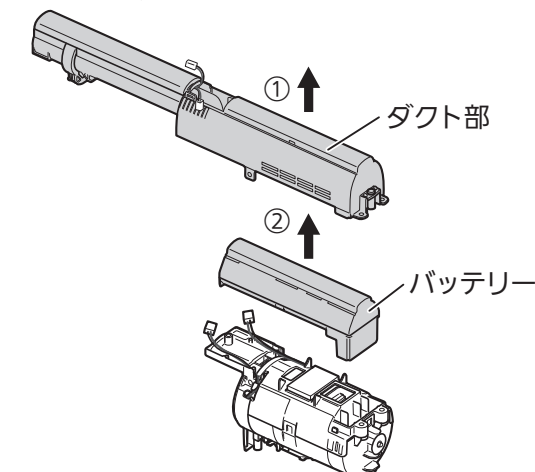
小型マイナスドライバーを溝(3カ所)に入れて、①～③の順番でツメをはずす



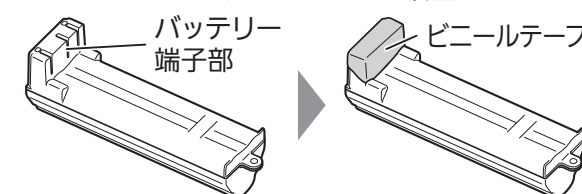
14 ネジ(4本)をプラスドライバーではずす



15 ダクト部をはずし、バッテリーを取り出す



16 バッテリー端子部にビニールテープを貼る



おねがい
●バッテリー交換は、お客様ご自身ではできません。バッテリー交換をご依頼ください。P31
●取りはずしたバッテリーは、本体に再度接続しないでください。
●廃棄するときは、バッテリーを取りはずした本体を各自治体の規則にしたがって、処分してください。

<バッテリーのリサイクルにご協力ください>
不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず端子部にビニールテープなどを貼って絶縁してください。



Li-ion20

保証とアフターサービス

■保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買上げ日から1年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。ただし、下記の部品は消耗部品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。
バッテリー・ブリーツフィルター・プレフィルター・お手入れブラシ<パワーブラシ>回転ブラシ・車輪・ふきブラシ・フェルト部<毛ブラシ>

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このコードレススティッククリーナーの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは(持込修理)

- 「故障かな?と思ったら」(取扱説明書記載 26~30ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。

●修理料金は

- 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。

●修理部品は

部品共有化のため、色等を変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱コードレススティッククリーナー
- 2.形名 HC-JS2F
- 3.お買上げ日 年 月 日
- 4.故障の状況 (できるだけ具体的に)

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

●三菱電機お客さま相談センター

パソコン・スマートフォン <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/support/>
サポート情報・お問い合わせはこちらから



〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

FAX **0120-365-088** (無料)

フリーダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

■受付時間 平日9:00~19:00 土・日・祝・弊社休日休業

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン <https://www.melsc.co.jp/support/>
こちらから簡単にアクセスできます。



フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

携帯電話の場合
TEL **0570-01-8634** (有料)

FAX **0570-03-8634** (有料)

■受付時間 365日 8:00~19:00

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

K25A

消耗部品

お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

ブリーツフィルター(高性能エアフィルター) 部品番号:M11 F01 260 	プレフィルター 部品番号:M11 F01 349 	お手入れブラシ 部品番号:M11 E11 183
毛ブラシ 部品番号:M11 F13 409S 	パワーブラシの回転ブラシ 部品番号:M11 F91 490M 	

<抗菌について>

部品名	抗菌の確認試験機関名	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行なっている部品名称
ブリーツフィルター(高性能エアフィルター)	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS L 1902に基づく	99%以上	フィルター材に含浸	ひだ折り不織布
本体	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	塗料に抗菌剤を含有	ハンドル(外側)
			99%以上	プラスチックに練り込み	ハンドル(内側)
パワーブラシ	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	回転ブラシ
	(一財)カケンテストセンター	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	上ケース
充電台	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	プレート

※<その他の効果>

抗ウイルス効果(試験機関:(一財)ボーケン品質評価機構、試験方法:JIS L 1922、試験結果:99%、パワーブラシの植毛(紫色)に塗布)

(抗ウイルス効果:回転ブラシの植毛(紫色)に付着したウイルスのみ活動の抑制をします)

製品の外観について

環境に配慮したプラスチック材料(リサイクル材)を製品の一部に採用しています。外観に模様が発生している箇所がありますが、品質上問題はありません。

リサイクル材を採用している主な部品
(部品の一部にリサイクル材を採用しています)



充電台



ロングノズル

修理を依頼される時のお願い

修理の際は、クリーナー・充電台・ACアダプターをセットでお預かりします。お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。

仕様

形名			HC-JS2F
クリーナー	電源方式		充電式リチウムイオンバッテリー
	充電時間		約180分 ※室温やバッテリー残量によって変化します。
	連続運転時間		自動:約10分～約40分/標準:約40分/強:約10分 (バッテリー初期・室温20℃・満充電の場合) ※ご使用方法や周囲の環境によって変化します。
	集じん容積		0.25L(ゴミすてラインまで)
	質量		1.9kg(パイプ・パワーブラシ含む)
	寸法		幅225×奥行き190×高さ1005mm
ACアダプター	形名		ADP-22AW FNA
	電源	入力	AC100V 50-60Hz 0.8A
		出力	DC26V 0.85A
	消費電力	本体充電時	25W
		充電完了後	0.4W
電源コードの長さ		1.6m	
充電台	質量		2.1kg
	寸法		幅270×奥行き270×高さ817mm
収納状態寸法			幅270×奥行き270×高さ1020mm (クリーナーを充電台にセットした状態)
総質量			4.0kg(クリーナー・充電台・ACアダプター含む)
標準付属品			パイプ・パワーブラシ・充電台・ACアダプター
応用付属品			毛ブラシ・ロングノズル・お手入れブラシ(充電台装着品)
印刷物			保証書・取扱説明書

お客さま便利メモ (お買上げの際に記入されると便利です)

お買上げ販売店名

電 話 ()

お買上げ日

年 月 日

愛情点検



★長年ご使用のコードレススティッククリーナーの点検を!

こんな症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音をする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用
中 止

事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱電機株式会社

三菱電機ホーム機器株式会社

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1

ZT911Z609H12